

早稲田大学 教育学部 地学 解答例

I

- A 問1 (イ) 地層の対比
(ロ) 示準化石
(ハ) 生存期間が短い。分布が広い。個体数が多い。
- 問2 放射性同位体は、温度、圧力、湿度などの影響を受けることなく、常に一定の速度で崩壊することを利用。
- 問3 ±200 万年
- 問4 気温の変動
- 問5 二酸化炭素
- B 問6 (ニ) 地軸の傾き、離心率、地軸の歳差運動
(ホ) 日射量
(ヘ) 気候
- C 問7 パンゲア
問8 先カンブリア時代
問9 (ト) 無脊椎動物の爆発的な出現
(チ) 大量絶滅
(リ) 3 億年

II

- 問1 1 酸素 2 ケイ素 3 アルミニウム
- 問2 4 部分溶融 5 マグマだまり
- 問3 6 カルシウム 7 ナトリウム 8 マグネシウム 9 鉄
- 問4 10 溶融ケイ酸塩 11 増加
- 問5 12 玄武岩質 13 流紋岩質

Ⅲ

- 問1 A P・S
B P・S
C P
D P

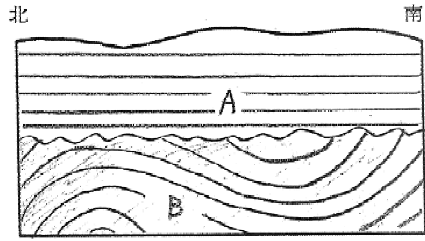
問2 マントルの地下深部にいく程、地震波速度は大きくなり、入射角より屈折角の方が大きくなるため、地震波は上向きに屈折するから。

問3 マントルから外核に入る際、入射角より屈折角の方が小さいことから、地震波速度は急減する。

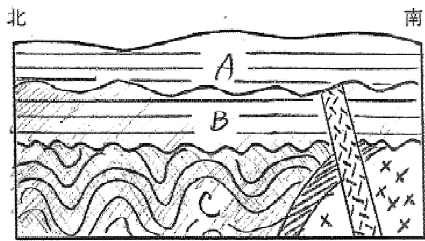
問4 外核から内核に入る際、地震波速度は急増する。

Ⅳ 次頁 (画像ファイル)

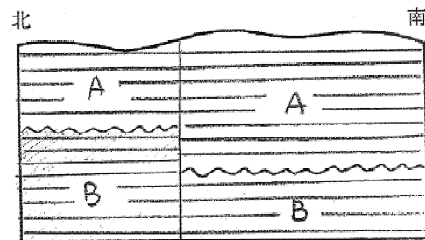
問1



問2



問3



問4

